

2007年度については、全体のBMI平均値は22.7である。男女別にみると、男性では23.1、女性では22.5で男性の方が高い。

男女別・年齢階級別にみると、男性でBMIの平均値が最も高いのは40-44歳(25.2)、次いで60-64歳(23.3)である。女性でBMIの平均値が最も高いのは45-49歳(24.2)で、次いで65-69歳(22.7)である。

図表 3-10 BMI (2007年度)

男性	BMI			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	8	25.2	22.3	29.0
45～49歳	6	23.0	22.3	23.8
50～54歳	14	22.6	20.9	24.5
55～59歳	35	23.2	18.8	27.2
60～64歳	39	23.3	19.4	27.8
65～69歳	56	23.0	17.9	28.0
70～74歳	66	23.0	17.9	28.4
合計	224	23.1	17.0	31.0
女性	BMI			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	7	20.4	19.6	21.5
45～49歳	17	24.2	19.7	32.5
50～54歳	23	22.1	19.8	25.1
55～59歳	48	22.4	18.2	28.1
60～64歳	64	22.5	16.8	30.0
65～69歳	98	22.7	17.3	30.8
70～74歳	77	22.1	16.8	29.1
合計	334	22.5	16.4	33.8
合計	BMI			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	15	22.5	18.5	29.0
45～49歳	23	24.0	19.7	32.5
50～54歳	37	22.4	19.7	25.1
55～59歳	83	22.6	18.2	28.9
60～64歳	103	22.8	16.8	30.4
65～69歳	154	22.8	17.1	30.8
70～74歳	143	22.4	15.9	29.4
合計	558	22.7	15.9	33.8

ロ. 最大血圧

2006 年度については、全体の最大血圧の平均値は 122.9mmHg である。男女別にみると、男性では 124.3mmHg、女性では 122.1mmHg でほぼ同程度である。

男女別・年齢階級別にみると、男性で最大血圧の平均値が最も高いのは 40-44 歳 (132.8mmHg) で、次いで 70-74 歳 (128.2mmHg) である。女性で最大血圧の平均値が最も高いのは 70-74 歳 (127.9mmHg) で、次いで 65-69 歳 (124.9mmHg) である。

図表 3-1 1 最大血圧 (2006 年度)

男性	最大血圧			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	8	132.8	118.0	149.3
45～49歳	8	119.0	104.0	129.7
50～54歳	13	115.6	100.0	138.0
55～59歳	31	117.7	93.7	144.3
60～64歳	31	127.3	96.7	147.7
65～69歳	55	124.0	94.7	154.0
70～74歳	62	128.2	95.3	160.0
合計	208	124.3	86.3	160.7
女性	最大血圧			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	16	111.4	97.3	131.3
45～49歳	16	111.0	94.7	129.3
50～54歳	29	113.3	87.7	130.7
55～59歳	48	119.0	93.3	144.0
60～64歳	68	121.4	98.0	148.7
65～69歳	93	124.9	101.7	158.0
70～74歳	76	127.9	102.0	158.3
合計	346	122.1	86.3	159.0
合計	最大血圧			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	24	118.7	97.3	149.3
45～49歳	24	112.8	90.0	132.0
50～54歳	42	113.2	87.7	138.0
55～59歳	79	118.4	89.0	144.3
60～64歳	99	123.2	91.3	151.0
65～69歳	148	124.6	94.7	158.3
70～74歳	138	127.8	94.7	160.0
合計	554	122.9	85.0	160.7

2007年度については、全体の最大血圧の平均値は126.0mmHgである。男女別にみると、男性では126.8mmHg、女性では125.3mmHgでやや男性の方が高い。

男女別・年齢階級別にみると、男性で最大血圧の平均値が最も高いのは40-44歳(133.1mmHg)で、次いで70-74歳(128.1mmHg)である。女性で最大血圧の平均値が最も高いのは70-74歳(131.8mmHg)で、次いで65-69歳(129.8mmHg)である。

図表 3-1 2 最大血圧 (2007年度)

男性	最大血圧			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	8	133.1	120.0	143.7
45～49歳	6	125.8	120.3	137.3
50～54歳	13	121.7	108.7	135.7
55～59歳	34	126.9	101.3	163.0
60～64歳	39	124.5	98.3	150.7
65～69歳	56	127.0	100.0	157.7
70～74歳	65	128.1	100.7	156.3
合計	221	126.8	94.3	166.3
女性	最大血圧			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	7	105.4	100.0	109.0
45～49歳	16	117.9	104.3	138.0
50～54歳	21	119.3	97.7	140.3
55～59歳	45	118.7	94.0	150.7
60～64歳	62	121.7	96.3	146.0
65～69歳	94	129.8	94.7	166.0
70～74歳	72	131.8	93.7	173.7
合計	317	125.3	88.7	173.7
合計	最大血圧			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	15	118.8	97.7	143.7
45～49歳	22	120.5	104.3	149.3
50～54歳	34	120.4	97.7	147.0
55～59歳	79	122.2	94.0	165.7
60～64歳	101	122.5	90.0	151.3
65～69歳	150	128.9	94.0	167.0
70～74歳	137	130.1	93.7	173.7
合計	538	126.0	88.7	173.7

ハ. 最小血圧

2006年度については、全体の最小血圧の平均値は75.8mmHgである。男女別にみると、男性では77.7mmHg、女性では74.8mmHgで男性の方が高い。

男女別・年齢階級別にみると、男性で最小血圧の平均値が最も低いのは55-59歳(75.1mmHg)で、次いで65-69歳(76.5mmHg)である。女性で最小血圧の平均値が最も低いのは40-44歳(67.4mmHg)で、次いで45-49歳(70.3mmHg)の順である。

図表 3-13 最小血圧 (2006年度)

男性	最小血圧			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	8	89.6	78.3	100.3
45～49歳	7	79.2	75.0	83.7
50～54歳	16	78.0	59.7	103.3
55～59歳	31	75.1	60.0	96.0
60～64歳	33	79.1	60.3	93.7
65～69歳	55	76.5	61.7	92.0
70～74歳	62	78.0	60.0	94.0
合計	212	77.7	52.7	106.3
女性	最小血圧			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	15	67.4	60.0	79.3
45～49歳	16	70.3	57.3	82.7
50～54歳	31	73.7	54.0	96.3
55～59歳	49	74.3	58.0	90.3
60～64歳	72	75.2	60.0	97.3
65～69歳	101	75.6	51.3	98.0
70～74歳	81	75.9	55.3	93.7
合計	365	74.8	48.7	102.7
合計	最小血圧			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	23	74.5	60.0	100.3
45～49歳	23	72.0	57.3	89.3
50～54歳	47	74.7	52.0	105.3
55～59歳	80	74.4	57.3	96.0
60～64歳	105	76.4	56.7	97.3
65～69歳	156	76.0	51.3	98.3
70～74歳	143	76.6	54.7	95.3
合計	577	75.8	48.7	108.3

2007年度については、全体の最小血圧の平均値は77.4mmHgである。男女別にみると、男性では79.1mmHg、女性では76.3mmHgで男性の方が高い。

男女別・年齢階級別にみると、男性で最小血圧の平均値が最も低いのは50-54歳(75.4mmHg)で、次いで65-69歳(77.8mmHg)である。女性で最小血圧の平均値が最も低いのは40-44歳(67.1mmHg)で、次いで50-54歳(74.3mmHg)の順である。

図表 3-14 最小血圧 (2007年度)

男性	最小血圧			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	8	86.9	78.0	95.7
45～49歳	6	83.6	81.0	88.3
50～54歳	14	75.4	71.3	81.3
55～59歳	35	81.2	63.0	101.7
60～64歳	39	79.3	64.3	94.7
65～69歳	56	77.8	60.0	101.3
70～74歳	67	78.1	61.3	96.7
合計	225	79.1	56.7	108.7
女性	最小血圧			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	7	67.1	62.7	72.0
45～49歳	16	75.4	66.7	85.3
50～54歳	23	74.3	56.7	92.7
55～59歳	47	74.7	62.3	91.0
60～64歳	64	75.4	58.3	95.7
65～69歳	98	76.2	55.3	97.3
70～74歳	76	79.4	55.0	106.3
合計	331	76.3	54.7	106.3
合計	最小血圧			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	15	76.5	62.0	95.7
45～49歳	22	77.5	66.7	88.7
50～54歳	37	74.8	56.7	92.7
55～59歳	82	77.4	59.0	101.7
60～64歳	103	76.7	58.3	98.3
65～69歳	154	76.8	55.3	103.0
70～74歳	143	78.7	55.0	106.3
合計	556	77.4	54.7	111.3

二. HbA1c

2006年度については、全体のHbA1cの平均値は5.22%である。男女別にみると、男性では5.19%、女性では5.23%である。

男女別・年齢階級別にみると、男性でHbA1cの平均値が最も高いのは60-64歳(5.35%)で、次いで65-69歳(5.30%)である。女性でHbA1cの平均値が最も高いのは60-64歳(5.34%)で、次いで65-69歳(5.27%)である。

図表 3-15 HbA1c (2006年度)

男性	HbA1c			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	8	5.09	4.90	5.27
45～49歳	8	4.95	4.87	5.07
50～54歳	16	4.95	4.57	5.53
55～59歳	31	5.13	4.47	6.10
60～64歳	33	5.35	4.47	7.23
65～69歳	55	5.30	4.57	6.57
70～74歳	62	5.14	4.40	6.07
合計	213	5.19	4.30	7.23
女性	HbA1c			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	16	4.97	4.50	5.60
45～49歳	16	5.06	4.53	6.07
50～54歳	31	5.03	4.60	5.60
55～59歳	49	5.23	4.67	6.37
60～64歳	72	5.34	4.63	8.90
65～69歳	101	5.27	4.53	7.60
70～74歳	81	5.24	4.43	6.47
合計	366	5.23	4.33	9.40
合計	HbA1c			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	24	4.98	4.50	5.63
45～49歳	24	5.00	4.53	6.13
50～54歳	47	5.01	4.47	5.70
55～59歳	80	5.19	4.47	6.47
60～64歳	105	5.33	4.40	9.10
65～69歳	156	5.28	4.47	8.03
70～74歳	143	5.20	4.40	6.57
合計	579	5.22	4.27	9.40

2007年度については、全体のHbA1cの平均値は5.23%である。男女別にみると、男性女性とも5.23%である。

男女別・年齢階級別にみると、男性でHbA1cの平均値が最も高いのは65-69歳(5.30%)で、次いで60-64歳(5.29%)である。女性でHbA1cの平均値が最も高いのは60-64歳(5.33%)で、次いで45-49歳(5.26%)である。

図表 3-16 HbA1c (2007年度)

男性	HbA1c			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	8	5.12	4.93	5.27
45～49歳	6	5.02	4.97	5.10
50～54歳	14	5.24	4.67	6.23
55～59歳	33	5.17	4.47	6.00
60～64歳	37	5.29	4.67	6.27
65～69歳	52	5.30	4.50	7.00
70～74歳	63	5.17	4.60	5.77
合計	213	5.23	4.43	7.30
女性	HbA1c			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	7	4.93	4.73	5.07
45～49歳	17	5.26	4.80	6.77
50～54歳	20	5.15	4.70	6.43
55～59歳	47	5.21	4.83	5.80
60～64歳	60	5.33	4.80	7.17
65～69歳	89	5.22	4.67	6.43
70～74歳	73	5.23	4.63	6.27
合計	313	5.23	4.43	8.50
合計	HbA1c			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	15	5.04	4.73	5.27
45～49歳	23	5.22	4.77	6.83
50～54歳	34	5.11	4.50	7.33
55～59歳	80	5.18	4.47	6.03
60～64歳	97	5.30	4.63	7.30
65～69歳	141	5.25	4.50	7.17
70～74歳	136	5.20	4.47	6.27
合計	526	5.23	4.40	9.00

ホ. 中性脂肪

2006 年度については、全体の中性脂肪の平均値は 111.4mg/dL である。男女別にみると、男性 133.3mg/dL、女性 98.6mg/dL で、男性のほうが高い。

男女別・年齢階級別にみると、男性で中性脂肪の平均値が最も高いのは 40-44 歳 (326.4 mg/dL) で、次いで 55-59 歳 (152.1mg/dL) である。女性で中性脂肪の平均値が最も高いのは 55-59 歳 (111.5mg/dL) で、次いで 60-64 歳 (101.4mg/dL) である。

図表 3-17 中性脂肪 (2006 年度)

男性	中性脂肪			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	8	326.4	146.7	689.3
45～49歳	8	105.3	74.7	146.3
50～54歳	16	130.9	63.7	223.0
55～59歳	31	152.1	63.3	324.0
60～64歳	33	135.2	63.3	369.7
65～69歳	55	125.8	50.7	380.7
70～74歳	62	102.7	39.3	224.0
合計	213	133.3	39.3	838.0
女性	中性脂肪			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	16	66.0	48.7	109.3
45～49歳	16	97.4	47.3	174.3
50～54歳	31	100.3	39.0	240.0
55～59歳	49	111.5	58.0	299.0
60～64歳	72	101.4	44.0	201.0
65～69歳	101	96.9	37.7	224.3
70～74歳	81	92.4	47.3	180.7
合計	366	98.6	35.3	317.3
合計	中性脂肪			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	24	165.8	48.7	689.3
45～49歳	24	97.9	44.0	208.7
50～54歳	47	108.5	39.0	255.0
55～59歳	80	126.8	58.0	369.3
60～64歳	105	112.4	44.0	371.3
65～69歳	156	106.6	37.7	414.0
70～74歳	143	96.8	38.0	233.0
合計	579	111.4	33.7	838.0

2007年度については、全体の中性脂肪の平均値は109.2mg/dLである。男女別にみると、男性127.7mg/dL、女性97.0mg/dLで、男性のほうが高い。

男女別・年齢階級別にみると、男性で中性脂肪の平均値が最も高いのは40-44歳(143.9 mg/dL)で、次いで45-49歳(133.8mg/dL)である。女性で中性脂肪の平均値が最も高いのは55-59歳(108.6mg/dL)で、次いで60-64歳(100.6mg/dL)である。

図表 3-18 中性脂肪 (2007年度)

男性	中性脂肪			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	8	143.9	90.3	197.3
45～49歳	6	133.8	87.3	258.3
50～54歳	14	130.6	57.0	246.7
55～59歳	33	122.0	56.0	224.3
60～64歳	38	122.0	52.0	219.0
65～69歳	52	128.3	58.0	290.0
70～74歳	63	119.7	51.7	381.0
合計	214	127.7	37.3	439.0
女性	中性脂肪			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	7	67.2	61.7	72.7
45～49歳	17	83.2	50.3	149.7
50～54歳	20	72.7	49.0	119.3
55～59歳	47	108.6	48.3	342.0
60～64歳	60	100.6	46.0	223.3
65～69歳	89	98.2	45.0	246.3
70～74歳	73	92.5	41.3	198.7
合計	313	97.0	38.0	413.7
合計	中性脂肪			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	15	107.6	61.7	197.3
45～49歳	23	110.5	50.3	317.3
50～54歳	34	87.3	45.3	250.3
55～59歳	80	114.7	45.3	369.3
60～64歳	98	109.1	42.0	272.7
65～69歳	141	109.5	44.7	290.0
70～74歳	136	103.8	39.0	381.0
合計	527	109.2	36.0	571.0

へ. HDL

2006年度については、全体のHDLの平均値は60.8mg/dLである。男女別にみると、男性56.7mg/dL、女性63.2mg/dLで、女性の方が高い。

男女別・年齢階級別にみると、男性でHDLの平均値が最も高いのは65-69歳(60.1mg/dL)で、次いで70-74歳(57.0mg/dL)である。女性でHDLの平均値が最も高いのは45-49歳(70.3mg/dL)で、次いで40-44歳(67.5mg/dL)である。

図表 3-19 HDL (2006年度)

男性	HDL			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	8	52.4	45.0	57.3
45～49歳	8	54.4	45.7	64.3
50～54歳	16	55.2	35.3	70.3
55～59歳	31	54.2	37.0	81.0
60～64歳	33	54.1	36.7	88.0
65～69歳	55	60.1	31.3	102.0
70～74歳	62	57.0	36.0	90.3
合計	213	56.7	30.7	102.0
女性	HDL			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	16	67.5	52.0	79.7
45～49歳	16	70.3	53.3	92.0
50～54歳	31	67.1	43.0	100.0
55～59歳	49	62.6	43.7	100.3
60～64歳	72	63.7	39.7	88.7
65～69歳	101	60.6	36.0	92.3
70～74歳	81	62.7	39.7	93.7
合計	366	63.2	34.3	113.0
合計	HDL			
	件数	平均	最小値	最大値
40～44歳	24	62.2	45.0	79.7
45～49歳	24	65.8	45.0	92.0
50～54歳	47	63.5	35.3	100.0
55～59歳	80	59.3	37.0	106.3
60～64歳	105	60.8	34.3	93.7
65～69歳	156	60.5	31.3	102.0
70～74歳	143	60.3	36.0	96.3
合計	579	60.8	30.7	117.3

突合分析による階層化分析

本節では、健診データ及びレセプトデータの突合を行い、確定版に基づくリスク数又は階層化ごとに医療費との関係を観察する。また、階層化基準値を変化させた際の対象者数及び医療費の変動の影響について分析した。

データから「健診データ及びレセプトデータの双方が存在する」という条件でサンプルを抽出したところ、階層化分析対象となったデータは846件であった。これら対象サンプルについて、確定版にしたがってリスクの評価及び階層化を行った。

(i) リスク数別人数及び医療費（入院＋外来医療費）

確定版に基づいたリスク算定の結果、リスク数別の対象者及び医療費については以下の通りであった。

リスク数と医療費の間には明確な傾向は見られなかった。他方、BMIが25以上の群は25未満の群と比較して医療費が高かった。

図表 3-21 リスク数別人数及び医療費

(上段：人数、下段：医療費(点))

リスク数	BMI25 未満	BMI25 以上	総計
0	198	20	218
	14,255	25,263	15,189
1	281	64	345
	17,504	23,974	18,791
2	147	82	229
	22,656	21,086	22,286
3	34	20	54
	20,601	27,267	21,934
総計	660	186	846
	17,990	23,272	19,183

(ii) 階層化別人数及び医療費（入院＋外来医療費）

階層化別に医療費（点数）を見ると、動機付け支援群、情報提供群、積極的支援群の順に医療費は高い。

図表 3-2 2 階層化別人数及び医療費

（上段：人数、下段：医療費（点））

階層化	入院＋外来医療費
情報提供群	640 18,392
動機付け支援群	175 23,351
積極的支援群	31 12,006
総計	846 19,183

イ. BMI

現在のBMIの基準で肥満リスクに該当する人は、男性で37.8%、女性で20.8%である。

この基準を変化させた場合、例えば「27以上」とすると男性の27.8%、女性の13.9%が該当する。

図表 3-2 3 BMI 基準を変更した場合の該当者数

（上段：人数、下段：％）

BMI	男性	女性
21 以上	233 74.1	352 66.7
23 以上	173 55.3	227 42.8
25 以上 (*)	121 37.8	110 20.8
27 以上	96 27.8	73 13.9
29 以上	76 20.8	46 8.8
全数	321 100.0	808 100.0

* 現在の基準値

ロ. HbA1c

現在のHbA1cの基準で血糖リスクに該当する人は、男性で47.9%、女性で49.9%である。

この基準を変化させた場合、例えば「5.7以上」とすると男性で15.5%、女性で11.7%が該当する。

図表 3-24 HbA1c 基準を変更した場合の該当者数

(上段：人数、下段：%)

HbA1c	男性	女性
4.2 以上	310 95.4	506 96.0
4.7 以上	288 88.7	486 92.0
5.2 以上(*)	150 47.9	267 49.9
5.7 以上	52 15.5	64 11.7
6.2 以上	35 9.7	38 6.7
全数	321 100.0	525 100.0

ハ. 中性脂肪

現在の中性脂肪の基準で脂質リスクに該当する人は、男性で30.5%、女性で12.3%である。

この基準を変化させた場合、例えば「190以上」とすると男性で19.4%、女性で6.9%が該当する。

図表 3-25 中性脂肪基準を変更した場合の該当者数

(上段：人数、下段：%)

中性脂肪	男性	女性
70 以上	246 77.0	367 69.1
110 以上	158 49.6	155 28.7
150 以上(*)	99 30.5	66 12.3
190 以上	62 19.4	37 6.9
230 以上	49 15.6	22 4.1
全数	321 100.0	525 100.0

二. HDL コレステロール

現在の HDL コレステロールの基準で脂質リスクに該当する人は、男性で 30.5%、女性で 12.3%である。

この基準を変化させた場合、例えば「32 未満」とすると男性で 26.6%、女性で 11.3%が該当する。

図表 3-26 HDL コレステロール基準を変更した場合の該当者数

(上段：人数、下段：%)

HDL コレステロール	男性	女性
56 未満	188 58.2	164 31.2
48 未満	126 38.4	88 16.4
40 未満 (*)	99 30.5	66 12.3
32 未満	88 26.6	61 11.3
24 未満	88 26.6	61 11.3
全数	321 100.0	525 100.0

ホ. 収縮期血圧

現在の収縮期血圧の基準で血圧リスクに該当する人は、男性で 47.5%、女性で 41.9%である。

この基準を変化させた場合、例えば「138 以上」とすると男性で 36.0%、女性で 29.6%が該当する。

図表 3-27 収縮期血圧基準を変更した場合の該当者数

(上段：人数、下段：%)

収縮期血圧	男性	女性
114 以上	243 75.2	368 69.0
122 以上	188 57.4	281 52.7
130 以上 (*)	157 47.5	226 41.9
138 以上	119 36.0	160 29.6
146 以上	102 31.0	123 22.7
全数	321 100.0	525 100.0

へ. 拡張期血圧

現在の拡張期血圧の基準で血圧リスクに該当する人は、男性で 47.5%、女性で 41.9%である。

この基準を変化させた場合、例えば「90 以上」とすると男性で 43.3%、女性で 39.7%が該当する。

図表 3-28 拡張期血圧基準を変更した場合の該当者数

(上段：人数、下段：%)

拡張期血圧	男性	女性
75 以上	214 65.6	314 58.2
80 以上	183 56.2	264 48.7
85 以上 (*)	157 47.5	226 41.9
90 以上	145 43.3	214 39.7
95 以上	138 41.1	201 37.5
全数	321 100.0	525 100.0

(v) リスク基準を変更した場合の医療費（入院+外来）の変化

確定版で示される階層化ロジックの基準値を変化させることで、該当者の医療費にどのような変化が見られるかについて試算した。なお、紙幅の都合上、基準値を1段階（1標準偏差の半分）だけ変更した場合の影響について本文では記述することとする。

イ. BMI

現在の BMI の基準で肥満リスクに該当する人の医療費（点数）の平均は 22,216 点であった。

現在の「25 以上」の基準値を「27 以上」に引き上げた場合も「23 以上」に引き下げた場合も該当者の医療費は減少する。

図表 3-29 BMI 基準を変更した場合の医療費

BMI	入院+外来医療費(点)	確定版基準適用時の医療費=100
21 以上	19,532	88.7
23 以上	21,249	96.6
25 以上 (*)	22,216	100.0
27 以上	20,249	90.8
29 以上	22,958	100.3

ロ. HbA1c

現在の HbA1c の基準で血糖リスクに該当する人の医療費（点数）の平均は 21,189 点であった。

現在の「5.2 以上」の基準値を「5.7 以上」に引き上げた場合は医療費が増加し、「4.7 以上」に引き下げた場合は該当者の医療費は減少する。

図表 3-30 HbA1c 基準を変更した場合の医療費

HbA1c	入院+外来医療費（点）	確定版基準適用時の医療費=100
4.2 以上	19,280	90.8
4.7 以上	18,815	88.5
5.2 以上(*)	21,189	100.0
5.7 以上	28,093	139.3
6.2 以上	24,081	114.3

ハ. 中性脂肪

現在の中性脂肪の基準で脂質リスクに該当する人の医療費（点数）の平均は 21,930 点であった。

現在の「150 以上」の基準値を「190 以上」に引き上げた場合には医療費は増加し、「110 以上」に引き下げた場合には医療費は減少する。

図表 3-31 中性脂肪基準を変更した場合の医療費

中性脂肪	入院+外来医療費（点）	確定版基準適用時の医療費=100
70 以上	19,552	89.6
110 以上	21,069	96.6
150 以上(*)	21,930	100.0
190 以上	24,474	111.9
230 以上	28,161	129.8

二. HDL コレステロール

現在の HDL コレステロールの基準で脂質リスクに該当する人の医療費（点数）の平均は 21,930 点であった。

現在の「40 未満」の基準値を「32 未満」に引き下げても「48 未満」に引き上げても医療費は減少する。

図表 3-3 2 HDL コレステロール基準を変更した場合の医療費

HDL コレステロール	入院+外来医療費（点）	確定版基準適用時の医療費=100
56 未満	21,959	100.7
48 未満	20,033	91.7
40 未満(*)	21,930	100.0
32 未満	19,287	86.7
24 未満	19,287	86.7

ホ. 収縮期血圧

現在の収縮期血圧の基準で血圧リスクに該当する人の医療費（点数）の平均は 20,072 点であった。

現在の「130 以上」の基準値を「138 以上」に引き上げると該当者の医療費は減少し、「122 以上」に引き下げると医療費は若干増加する。

図表 3-3 3 収縮期血圧基準を変更した場合の医療費

収縮期血圧	入院+外来医療費（点）	確定版基準適用時の医療費=100
114 以上	21,335	107.4
122 以上	20,875	104.6
130 以上(*)	20,072	100.0
138 以上	18,427	91.8
146 以上	19,036	95.1

へ. 拡張期血圧

現在の拡張期血圧の基準で血圧リスクに該当する人の医療費（点数）の平均は20,072点であった。

現在の「85以上」の基準値を「90以上」に引き上げた場合も「80以上」に引き下げた場合も医療費は減少する。

図表 3-34 拡張期血圧基準を変更した場合の医療費

拡張期血圧	入院+外来医療費（点）	確定版基準適用時の医療費=100
75以上	19,711	98.8
80以上	19,373	96.7
85以上(*)	20,072	100.0
90以上	19,872	98.7
95以上	19,708	98.1

(vii) 階層化基準を変更した場合の該当者数

確定版で示される階層化ロジックの基準値を変化させることで、情報提供群、動機付け支援群、積極的支援群の該当者数にどのような変化が見られるかについて分析した。

基準1はBMIの基準を引き上げた場合、基準2はHDLコレステロールを除く全ての基準を引き上げ、HDLコレステロールの基準を引き下げた場合である。

現在の基準よりも基準1の方が、基準1よりも基準2の方が、介入レベルの高い人が減っている。

図表 3-35 階層化基準を変更した場合の該当者数

	情報提供群	動機付け支援群	積極的支援群	全体
現在の基準	640	175	31	846
基準1	697	122	27	846
基準2	748	90	8	846

※基準1 = BMI「27以上」。

基準2 = BMI「27以上」、空腹時血糖「112以上」、HbA1c「5.7以上」、中性脂肪「190以上」、HDLコレステロール「32未満」、収縮期血圧「138以上」、拡張期血圧「90以上」。

(viii) 階層化基準を変更した場合の医療費（入院+外来）

確定版で示される階層化ロジックの基準値を変化させることで、情報提供群、動機付け支援群、積極的支援群の該当者の医療費にどのような変化が見られるかについて分析した。

現在の基準と基準1、基準2とでは動機付け支援群の医療費が減少している。

図表 3-36 階層化基準を変更した場合の医療費

(単位：点)

	情報提供群	動機付け支援群	積極的支援群	全体
現在の基準	18,392	23,351	12,006	19,183
基準1	19,061	20,994	12,004	19,183
基準2	19,249	17,555	7,704	19,183

※基準1 = BMI 「27 以上」。

基準2 = BMI 「27 以上」、空腹時血糖 「112 以上」、HbA1c 「5.7 以上」、中性脂肪 「190 以上」、HDL コレステロール 「32 未満」、収縮期血圧 「138 以上」、拡張期血圧 「90 以上」。